



海峡オペラティックナイト

2023年5月14日(日) 開演17時30分/(途中休憩あり)

※雨天延期 5月28日(日)

姉妹都市広場 特設ステージ(山口県下関市阿弥陀寺町)



牟田裕 Baritone



荒田砂代子 Soprano



松浦美穂 Soprano



早川恵美 Piano



古木雅士 Piano



見島まさ子 Violin



関門海峡合唱団 Chorus

【予定曲目】

関門海峡のアヴェマリア[関門海峡ソング/作曲:牟田裕]

Leaning on Time~時に寄り添って[作曲:Jin Choi/日本語詞:牟田裕]

ある晴れた日に[オペラ「蝶々夫人(プッチーニ作曲)」]

からたちの花 -下関の偉人 テノール歌手藤原義江氏を称えて-

Tonight[ミュージカル「ウェストサイドストーリー(バーンスタイン作曲)」] など...



※コンサート協賛箱を会場に設置させていただきます。継続開催への皆様のお心、ご協力をお願いします。

企画・主催・プロデュース:牟田裕 共催:関門エンターテイメント下関実行委員会

後援:下関市、下関市教育委員会、北九州市、北九州市教育委員会 協力:みもすそ川町自治会、(有)サンエキ

協賛:緑都開発株式会社、旧下関英国領事館 tearoom Liz、有限会社 梅寿軒、他

お問い合わせ: 関門エンターテイメント TEL.080-1740-9243



関門海峡は、古来より陸上・海上交通の要衝であり、日本の歴史上重要な転換点の舞台となってきました。平安時代末の源平の戦いや、武蔵・小次郎の巖流島の決闘などは特に有名な物語として今に伝わっています。幕末の下関戦争を契機とした下関・門司両港の開港から経済的な発展、関門鉄道トンネルの開通、そして現在の街並みが作られる約 100 年間のストーリーが「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」として文化庁から日本遺産の認定を受けています。この日本遺産を活用する関門海峡日本遺産協議会は、関門海峡の歴史とこの素晴らしいロケーションを活かした地域の魅力を積極的に発信しています。



六連島灯台



部埼灯台



日本遺産「関門“ノスタルジック”海峡～時の停車場、近代化の記憶～」ストーリー概要

古来より陸上・海上交通の要衝であった関門地域は、幕末の下関戦争を契機とした下関・門司両港の開港以降、海峡の出入口には双子の洋式灯台が設置され、沿岸部には重厚な近代建築が続々と建設された。狭隘な海峡を外国船が行き交う景観の中、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が、時が停止したかのように現在も残されている。渡船や海底トンネルを使って兩岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができる。



← 日本遺産 関門“ノスタルジック”海峡の詳細はこちらから！

画像提供：関門海峡日本遺産協議会



下関南部町郵便局と旧秋田商会ビル



JR 門司港駅



山口銀行旧本店

ご協賛(敬称略) ありがとうございます

緑都開発株式会社、旧下関英国領事館 tearoom Liz、有限会社 梅寿軒、
ウズハウス、赤間神宮、引接寺、ファミリーマートあるかぼーと、
一般社団法人からまち、なかむら生花店、小幡一江さま、山崎舞奈さま、夏川清司さま

牟田裕 企画プロデュース Kanmon Entertainment/関門エンターテイメント活動趣旨

私たちが生まれ育った関門海峡は、命の海です。関門エンターテイメントは、関門地域の歴史文化や地域資源の魅力を活かし、「平和」「絆」「慰霊と祈り」「自然との共生」「感謝」「思いやり」のメッセージを、音楽・歌・郷土劇などを中心とした無形の当地エンターテイメントを通じ、平和メッセージや先人の慰霊、歴史発信およびその価値を高め、郷土愛を育み、感動の心で繋がる人と人との絆を深め、地域の未来に繋ぐための活動です。郷土史家や地域住民とも連携しながら地域の課題解決にも取り組み、参加する全ての人々が、生命への深い感謝と優しさに触れることが出来るような活動を目指しています。将来的には、関門海峡の歴史を世界に発信できる芸術文化的基盤を新しく構築するためのエンターテイメント活動です。 関門エンターテイメント <https://yuumuta.jimdofree.com/kanmon-entertainment/>

コンサート協賛募集

《お振込み先》

西日本シティ銀行門司支店 口座番号 3076912

関門エンターテイメント 代表 牟田裕

カンモンエンターテイメント ダイヒョウ ムタクウ

